

教員向けワークショップ 「伝統芸能を題材にしたオンラインでの教育活動を考える」

米本和弘（東京医科歯科大学）・濱田典子（秋田大学）

協力・助言：畑佐一味（パデュエ大学）

協力：ポプラ社

目的： オンラインで実施する文化体験活動の一つの形を共有すること。

目標： 本日より同じ形で、もしくは、それぞれの現場の実情を反映したオンライン環境下における文化体験活動等をデザインすることができるようになる。

流れ： 17:50-18:00 趣旨説明
 18:00-19:00 ワークショップ見学
 19:00-19:10 質疑応答

学生向けワークショップ 「オンラインで伝統芸能を味わおう 紙切りの夕べ」

日時： 2020年7月24日(金)18:00-19:00 プレセッション

2020年7月31日(金)18:00-19:00 ワークショップ

目的： 留学生が実際に紙切りを見る機会を提供すること。
 留学生が紙切りの楽しさに気づく機会を提供すること。

目標： 紙切りを楽しむ視点を自分なりに持つことができること。

対象： 日本の大学に留学している／留学する予定のある学生 20名
 （秋田大学 10名、東京医科歯科大学 10名）

講師： 林家二楽師匠（紙切り師、落語協会）

実施計画：

段階	前作業		本作業	後作業
	プレセッション	宿題	ワークショップ	課題
活動の目的	<ul style="list-style-type: none"> 紙切りの芸を最大限に楽しむための文化的、言語的土台と雰囲気を作ること。 		<ul style="list-style-type: none"> 実際に紙切りの芸を見て、体験して、楽しむこと。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動を振り返ること。
活動の目標	<ul style="list-style-type: none"> 紙切りの特徴を大まかにつかみ、紙切りを楽しむための視点を獲得すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 紙切りで使用される基本的な単語と表現がだいたいわかること。 	<ul style="list-style-type: none"> 紙切りが楽しめること。 事前に得た知識と体験が結びつけられること。 	<ul style="list-style-type: none"> 紙切りを楽しむ視点を自分なりに持つことができる。
活動内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="text-align: center; margin-bottom: 10px;">紙切りの技術 発想力、想像力</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%; border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> 師匠があるお題をどのように切ったか、もしくは作品からお題は何かをグループで考える。 師匠にリクエストしたいものをグループで考え、全体で投票ののち、その中からリクエストしたい一つのお題を決める。 </div> <div style="width: 45%; border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ビデオを視聴し、紙切りで使われる簡単な日本語について学ぶ。 プレセッションで選ばれたお題を、自分だったらどう切るか考え、絵を描き、Padletにアップロードする。 師匠にしたい質問もPadletに書く。 </div> </div> <div style="margin-top: 20px; text-align: center;"> <p>→</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <ul style="list-style-type: none"> 実際に師匠が紙切りをしているのを見て、説明を聞く。 師匠がどのようにリクエストを切るのを見る。 師匠に教えてもらいながら、2つのお題を実際に切ってみる。 師匠に質問をする。 </div> <p>→</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <ul style="list-style-type: none"> 本作業中に提示されるお題で作品を切り、文章とともにPadletにアップロードする。 お互いにコメントをする。 </div> </div> </div>			

学生向けワークショップ実施計画概要

流れ： 2020年6月1日(月) 二楽師匠にワークショップ開催を打診
 2020年6月22日(月) 二楽師匠と Zoom ミーティング
 企画内容などを相談
 2020年7月2日(木) ワークショップの開催を正式決定
 2020年7月8日(水) ポプラ社からの協力取り付け
 2020年7月13日(月) 学生へ告知開始（メール、学内 facebook 等）
 2020年7月24日(金) プレワークショップ開催
 2020年7月30日(木) 二楽師匠と Zoom で最終打合せ
 2020年7月31日(金) ワークショップ開催

実施体制： 実施：米本和弘（東京医科歯科大学）・濱田典子（秋田大学）
 協力・助言：畑佐一味（パデュー大学）
 講師：林家二楽（紙切り師、落語協会）

経費： 2万円（二楽師匠への謝礼）

物品等：

- Padlet (<https://padlet.com>)
 掲示板アプリ（*一定数までは無料）
- パソコン（二楽師匠へ貸し出し）

前作業（2020年7月24日(金)18:00-19:30

目的：

- 紙切りを最大限に楽しむため、紙切りについての基礎的知識を提供すること。
- 参加者間において、紙切りを一緒に楽しめる雰囲気を作ること。

 目標：

- 紙切りの特徴を大まかにつかみ、紙切りを楽しむための視点（紙切りの技術のすごさ、発想力・想像力のすごさ）を得ること。

 事前準備：

- 学生への時間等、準備物（ハサミ、紙）についての連絡
- 紙切りの紹介のためのスライド（ビデオを含む）
- 課題アップロード用の Padlet の作成
https://padlet.com/dia_noriko_3728/kamikirinight_0723

活動の流れ：

	時間	内容（オレンジが実施後のメモ）	
	17:45	Zoom ミーティング開始 入室開始・ウォームアップ	
導入	18:00-18:10	<ul style="list-style-type: none"> 教員自己紹介 プレセッションの背景と目的の説明 <ul style="list-style-type: none"> 紙切りについて事前に少し知っておくと当日、もっと楽しめる。 プレセッションの目的は、当日楽しむための準備をすること。 紙切りについての紹介 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">短いビデオを視聴し、以下を押さえる</div> <ul style="list-style-type: none"> 寄席の中で行われる芸であること 観客からのリクエストをもとに、下書きなどの準備をせず、短時間で切ること 	説明スライド 説明スライド ビデオ（02:10-05:20） *ここから画面共有 *左右表示モードに

		<ul style="list-style-type: none"> ・ 使うものはハサミと紙だけであること 	ついて説明	
展 開	18:10-18:30	<ul style="list-style-type: none"> ・ 紙切りの特徴について <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">二楽師匠の作品を見せ、もとのお題を考える</div> <p>問いかけ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ これは二楽師匠が今までに切った作品です。お題は何だったと思いますか。まず考えてみましょう。 ・ お題は何だったと思いますか。話してください。 		
	(2分)	<ul style="list-style-type: none"> ➤ スライドで①芸者を見せる。→お題が何か全体で話す。→お題を提示する。 <div style="border: 1px solid red; padding: 2px;"> <p>〈参加者の反応〉 花魁と子ども *緊張していたか、やや反応が遅い</p> </div>		作品①「舞妓」
	(2分)	<ul style="list-style-type: none"> ➤ スライドで②初日の出を見せる。→お題が何か個人で考える。→全体で話す。→お題を提示する。 <div style="border: 1px solid red; padding: 2px;"> <p>〈参加者の反応〉 神さま、初詣 *やや慣れてきたか、少し反応するようになる *「なぜそう思ったのか」などの分析的視点に関する問いかけがあってもよかった。</p> </div>		作品②「初日の出」
(16分)	<ul style="list-style-type: none"> ➤ スライドで③世界地図を見せる。→お題が何かブレイクアウトルームでグループで考える。→話したことを全体に共有する。→お題を提示する。 <p>*ブレイクアウトルームでは、まず簡単に自己紹介をさせる。</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 2px;"> <p>〈参加者の反応〉 おねしょ。おねしょをして、子どもがお母さんに怒られているところ。 *どのグループも同様の答えで、「世界地図」と知った時、「おおお」という声があがった。</p> </div>	作品③「世界地図」		
	18:30-18:50	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">お題から、二楽師匠がどう切ったかを考える</div> <p>問いかけ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ これは二楽師匠が今までに切ったお題です。どんな作品になったと思いますか。まず考えて、絵で書いてみましょう。 ・ どんな作品になったと思いますか。見せてください。 		
(5分)	<ul style="list-style-type: none"> ➤ スライドで④ドラゴンというお題を提示する。→二楽師匠がどう切ったかを個人で考え、絵に描く。→全体で共有する。→作品を提示する。 <div style="border: 1px solid red; padding: 2px;"> <p>〈参加者の反応〉 *実際に書く時間は3分と短かったが、細かな点までイメージしながらそれぞれのドラゴンが描けていた。</p> </div>	④ドラゴン		

<p>(5分)</p>	<div data-bbox="523 197 1134 398" data-label="Image"> </div> <p>➤ スライドで⑤闇夜のカラスというお題を提示する。→黒い紙を切るだけでは昼間のカラスに見えたり、闇夜の鳩に見えたりすることを説明→二楽師匠がどう切ったかを個人で考え、絵に描く。→全体で共有する。→作品を提示する。</p> <div data-bbox="523 595 1134 1032" data-label="Text"> <p>〈参加者の反応〉 カラスだけではなく、月など、夜とわかることを同時に示す。 *絵を描く作業に移る前に、一人の参加者が「月などを描けばいい」と声に出す。→これに少し引きずられて、ほとんどの参加者が月などを描く。</p> </div> <div data-bbox="544 869 1166 1014" data-label="Image"> </div>	<p>⑤闇夜のカラス</p>
<p>(10分)</p>	<p>➤ 2代目林家正楽師匠の作品⑥闇夜のカラスを見せる。→一つのお題で決して答えが一つではないことを説明する。</p> <div data-bbox="523 1155 1134 1279" data-label="Text"> <p>〈参加者の反応〉 *声には出していなかったが、うなずいたりする様子が見られた。</p> </div> <p>➤ スライドで⑦夢を見せる。→二楽師匠がどう切ったかをブレイクアウトルームでグループで考え、絵に描く。→全体で共有する。→作品を提示する。</p> <div data-bbox="523 1435 1134 1715" data-label="Text"> <p>〈参加者の反応〉 机の上やベッドの上寝て、夢を見ている絵、文字でZZZと描いたり、悪夢やモンスターなど非現実的なものを描くなどが出た。 *寝ている時に見る夢だけで、将来の夢などの夢は出て来なかった。</p> </div> <div data-bbox="536 1715 1166 1861" data-label="Image"> </div>	<p>⑥正楽師匠の作品「闇夜のカラス」</p> <p>⑦夢</p>
<p>18:50-19:05 (15分)</p>	<div data-bbox="405 1921 804 1962" data-label="Section-Header"> <p>二楽師匠のワザについて考える</p> </div> <p>➤ 上記①～⑦を1枚のスライドで見せる。→どんな作品だったら観客が喜ぶか、その要素、ま</p>	<p>作品一覧</p>

		<p>た、そのために紙切り師に何が必要かという問いを提示する。→ブレイクアウトルームでグループで考える。→全体で共有する。</p> <p>問いかけ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 二楽師匠の紙切りの作品を見てきましたが、どんな作品だったら、観客は喜ぶと思いますか。 ・ 観客が喜ぶ作品を切るために紙切り師には何が必要だと思いますか。 <p>〈参加者の答え〉 高い質、発想力、想像力、技術力、現実味、人生経験、観客を見る力</p>	
まとめ	<p>19:05-19:25 (15分)</p> <p>・ ワークショップに向けて</p> <p>二楽師匠に当日切って欲しいもの考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 当日、時間の関係上、切ってもらえるのは1つであること、それをこれから選ぶことを説明する。上のワザが見られるようなお題を考えることを説明する。→ブレイクアウトルームでグループで考える。→全体で共有する。→投票して1つを選ぶ。 <p>問いかけ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ このみんなが考えた紙切り師に必要なものを見られるお題を考えてみましょう。 <p>〈参加者の答え〉 自分、幸せ、紙、2020年の生活、新型コロナと戦う医師たち、貧富、家族と別れて暮らす人たち、今</p> <p>(5分)</p> <p>宿題の提示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本語練習用のビデオを見ておく。 ・ 紙切りについてのビデオを見ておく。 ・ 選ばれた1つのお題を自分だったらどう切るか絵に書いてみる。→Padlet にアップロードする。 ・ Padlet に二楽師匠に聞いてみたいことを書く。 	<p>* Padlet について説明する。</p>	

宿題 (2020年7月30日(木)まで)

- 目的： ・ 紙切りで使用される基本的な単語と表現がだいたいわかること。
- 目標： ・ 簡単な日本語での指示や説明を聞き、半分程度理解した上で、紙切りの作業ができること。
- 事前準備： ・ Padlet を作っておく
・ 日本語練習用ビデオを作っておく

内容：

- 1) 日本語練習用のビデオを見て、一緒に一度作品を切ってみる。
- 2) ウェブサイト「林家二楽師匠の紙切りの技を切る」で紙切りについて復習しておく。
- 3) 前作業の時間内に選ばれた1つのお題を自分だったらどう切るか絵に書いてみる。→画像を撮影し、Padlet にアップロードする。
- 4) 上のものと同時に、二楽師匠に聞いてみたい質問を Padlet に書く (英語、もしくは日本語で)。

本作業 (2020年7月31日(金)18:00-19:00)

- 目的：
 目標：
 事前準備：
- ・ 体験を通して紙切りを楽しむ機会を提供すること。
 - ・ 紙切りを最大限楽しむこと。
 - ・ 当日の体験を通し、事前に得た知識を確認、理解を深めること。
 - ・ 師匠への質問項目の選定
 - ・ 二楽師匠への連絡事項
 - ワークショップの流れ
 - 通訳の入れ方について
 - 学生が知っている日本語について
 - 学生が知っている紙切りの知識について
 - 学生が選んだお題
 - 学生から出た質問のうち
 - 1) 切っていただく間にお話しいただきたいこと
 - 2) 最後の質疑応答で答えていただきたいこと
 - ・ 学生への連絡事項
 - ハサミと紙の準備
 - 選ばれたお題に対して学生が書いた絵の準備
 - ・ 紙切りの紹介のためのスライド
 - ・ 課題アップロード用の Padlet の作成
- 活動の流れ：
https://padlet.com/dia_noriko_3728/kamikirinight_20200731

	時間	内容	
	17:55	Zoom ミーティング開始	
導入	18:00-18:05	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入室開始 ・ ワークショップの目的の共有 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 紙切りを楽しむこと。 ・ 講師紹介 	説明スライド
	18:05-18:10	<ul style="list-style-type: none"> ・ ハサミ試し <ul style="list-style-type: none"> ➢ 講師紹介から二楽師匠にマイクと画面を移す。 ➢ ハサミ試しの間に紙切りの特徴をお話しいただき、適宜、通訳を挟みながらハサミ試しを鑑賞する。 ◇ 使っている道具 ◇ 体を揺らすこと 	
展開	18:10-18:20	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学生からのリクエスト <ul style="list-style-type: none"> ➢ 選ばれたお題を出したグループにリクエストを言ってもらおう。 ➢ ハサミ試しと同様に、リクエストを切っている間に、以下のようなことをお話しいただき、適宜、通訳を挟みながら鑑賞する。 <ul style="list-style-type: none"> ◇ 難しかったリクエスト ◇ 驚いたリクエスト ◇ 難しいリクエストが切れるまでにどのぐらいかかったか ◇ その他学生から出た質問で関連するもの ➢ 二楽師匠が切ったのを見た後に、各自が事前 に書いた絵を画面に映す。→二楽師匠に見てもらい、簡単にコメントをもらう。 	学生作品の表示

	18:20-18:45	<p>問いかけ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 二楽師匠がどうやって切るか予想しましたが、どうでしたか。 <p>・ 紙切りワークショップ</p> <p>ちょうちよ</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 二楽師匠の説明と表示される見本を見ながら各自切っていく。 ➤ 画面に自分の作品を見せる。 	紙切り見本①
	18:45-18:55	<p>ねこ</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 二楽師匠の説明と表示される見本を見ながら各自切っていく。 ➤ 画面に自分の作品を見せる。 <p>・ 質疑応答</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 事前に考えていた質問を2つか3つ程度二楽師匠に聞く。 ➤ 必要に応じて通訳を入れる。 	紙切り見本②
ま と め	18:55-19:00	<p>・ まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 何人かに感想を聞く。 ➤ 二楽師匠の本を紹介する ➤ 課題を提示する。トピックは二楽師匠に提示してもらう。 	スライド

後作業（2020年8月3日(月)までに画像を投稿、8月5日(水)までにコメント投稿）

- 目的： ・ 活動を振り返る機会を提供すること。
- 目標： ・ 紙切りを楽しむ視点を自分なりに持つことができる。
- 事前準備： ・ 前作業と異なる Padlet を作っておく。
- ・ 学生が切るトピックについて二楽師匠に伝えておく。

- 1) 二楽師匠に提示されたトピックについて、自分なりに切ってみる。→自身の作品についての簡単な説明（日本語、もしくは英語で）とともに、Padlet にアップロードする。
- 2) アップロードされた他の人の作品を見て、コメントをする。

二楽師匠のご著書

林家二楽(2020)『ビリビリ！チョコキチョコキ！大へんしん！切り紙あそび 4 知ってる？でんとう紙切り』ポプラ社



紙切りの紹介ウェブサイト

畑佐一味 (n.d.) 「林家二楽師匠の紙切りの技を切る」〈<http://tell.cla.purdue.edu/hatasa/kamikiri/>〉(2020年7月20日参照)

参考文献

- 米本和弘・曾我部絢香 (2012) 「初級後半での落語を用いた授業活動の実践報告」『Journal CAJLE』13, 63-83
- Hatasa, K. (2012). Integrating “Rakugo” and “Kobanashi” in Japanese language classes at different levels. *Japanese Language and Literature*, 46(1), 201-215.
- 高偉建 (n.d.) 「日本語教育通信 授業のヒント 『ものづくり』を通じて学習意欲を高めよう—うちわづくりを例に—」〈<https://www.jpfe.go.jp/j/project/japanese/teach/tsushin/hint/201709.html>〉(2020年7月20日参照)

注意事項

- ・ 教員向けワークショップで使用、共有した資料はご自由にお使いいただいて構いません。使用に際して、ご連絡いただく必要もありません。
- ・ ただし、学生向けワークショップ内で使用した「ちょうちょ」と「ねこ」の見本について使用する際は、参加者に対して『ビリビリ！チョコキチョコキ！大へんしん！切り紙あそび 4 知ってる？でんとう紙切り』について宣伝することが条件になっています。
- ・ 二楽師匠へのご連絡をご希望の際はご連絡ください。